

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: HALO™ BURN

COLOR: VIOLET / PINK / PLATINUM

WEIGHT BLOCK : CENTRUM™ CORE

COVER STOCK: MICROTRAX-P18™ PEARL REACTIVE

RG : 2.49 ΔRG:0.050 ID:0.018

FACTORY FINISH: 1500-Grit POLISHED

TRACK FLARE POTENTIAL: HIGH

BACK END:19 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

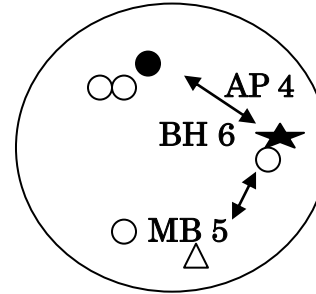
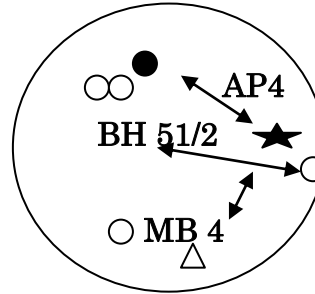


平成 30 年 11 月 15 日

レイアウト例

HALO

HALO BURN



CA52 度

CA52 度

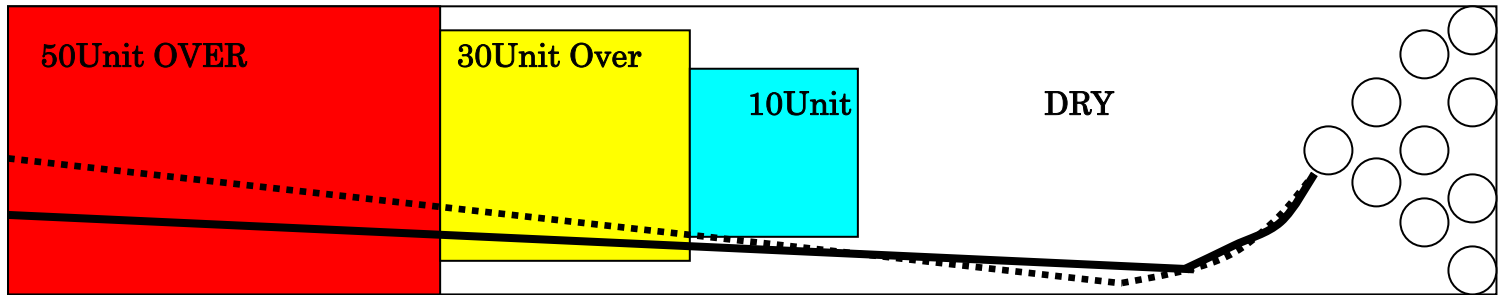
フレア幅 最大 63/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】



0F

15F

37F

40F

比較品ライン

HALO BURN

HALO

【レーン状況】 ベースコンディションはミディアムクラスのレーンで、ピン側は手拭きにてレーンクリーニングを行いました

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

新開発セントラムコアは前作でもそうでしたが、レーン手前と言うより中盤からバックエンドに威力を発揮する様に設計されています。今回レーン手前の走りを強調させ、印象が一新しました。バックエンド側に行くにつれて転がり感を強くさせ、手前の直進性は強くなっています。フレアポテンシャルもゆっくりで投げ易い製品ですね。

【ここがポイント】



ロトグリップを象徴するような製品の登場で前作は世界を震撼させましたが、秘密はセントラムコアにありました。このコアは軸移動に無駄なフレアポテンシャルが無くコントロール性能を高める事でレーン中盤から後半に転がり感を強く持たせ、ミスショットをカバーし易い設計になっています。特にスピードの無い方には最適です。粘りがあるピン飛びも最高です。

平成 2019 年 1 月販売予定 テスト協力 : 本八幡ハタ BC テスター : 石原 章夫プロ(11 期)